



# ほほえみ

碧南市民病院



NO.38

平成 25 年 4 月 1 日 発行  
発行：碧南市民病院  
病院長 梶田 正文  
編集：地域連携委員会

## 新任医師紹介

当院の新しい医師を紹介します。

- ①名前(かな)
- ②所属
- ③前任地
- ④ひとこと(抱負、最近思うこと等)



- ①松本 直基(まつもと なおき)
- ②外科
- ③名古屋大学医学部附属病院
- ④平成15年に医師免許を取得し、急性期病院、地域密着型病院、高度先進医療を有する病院を経て参りました。各病院での経験を生かし、当院に求められる医療を行いたいと思います。



- ①松脇 佑次(まつわき ゆうじ)
- ②内科
- ③碧南市民病院臨床研修医
- ④引き続き碧南市民病院で勤務させていただきます。よろしくお願いいたします。



- ①近藤 博子(こんどう ひろこ)
- ②麻酔科
- ③名古屋大学医学部附属病院
- ④治療を怖がらずに、少しでも元気と幸せをとりもどせます様に。まほうはかけられません。がますいはかけられます。



- ①宮本 貴文(みやもと たかふみ)
- ②歯科口腔外科
- ③岐阜県立多治見病院
- ④地域の一次医療機関の先生方とも連携して市民の皆様の健康を守り、安心して住める碧南市を維持していきたいと思っています。



- ①好中 久晶(よしなか ひさあき)
- ②外科
- ③碧南市民病院臨床研修医
- ④初期研修を終え、このたび外科のスタッフとして働かせていただくこととなりました。少しでも皆様のお役に立てるようがんばってまいります。よろしくお願いいたします。

## 新任研修医紹介

当院の新しい研修医を紹介します。

- ①名前(かな)
- ②所属
- ③前任地
- ④ひとこと(抱負、最近思うこと等)



- ①久田 剛輝(ひさだ ごうき)
- ②研修医
- ③秋田大学
- ④碧南市の対岸、武豊町の出身で、大好きな愛知県で医師としてのスタートを切ることができて嬉しいです。患者さんから学ばせていただき、その成果を少しでも多く還元できるよう努めてまいります。



- ①高橋 枝里子(たかはし えりこ)
- ②研修医
- ③藤田保健衛生大学
- ④この春から碧南市民病院で働かせていただくことになりました。地域の皆様に気軽に相談していただけるような医師になれるよう一生懸命がんばりたいと思います。よろしくお願いいたします。



- ①久田 智子(ひさだ さとこ)
- ②研修医
- ③秋田大学
- ④私は歯科・医科そして患者様の架け橋になりたいと思いを志しました。歯科医としての経験を活かし、患者様に寄り添った医療をできるようがんばります。よろしくお願いいたします。



- ①長谷川 智仁(はせがわ ともひと)
- ②研修医
- ③大阪医科大学
- ④碧南に根ざした患者様の気持ちと痛みを理解できる医療を目指してまいります。研修において上級医の指導のもと、いろいろな経験を積み、安心できる医療を提供したいです。



- ①鈴木 貴大(すずき たかひろ)
- ②歯科研修医
- ③愛知学院大学
- ④本年度から歯科医師となりました鈴木貴大と申します。まだわからないことだらけで病院の皆さんにはご迷惑をおかけすると思いますが、研修には真摯に取り組んでいきますのでよろしくお願いいたします。

## 2月に病院機能評価を受審しました

病院機能評価とは病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。公益財団法人日本医療機能評価機構の評価調査者（サーベイヤー）が中立・公平な立場にたって、所定の評価項目に沿って病院の活動状況の評価し、その結果明らかになった課題に対し、病院が改善に取り組むことで、医療の質向上を図るのが目的です。

当日は7人のサーベイヤーが来院し、書類審査、合同面接、部門別面接をした後、院内の各部署をまわりました。日常の業務や記録、マニュアル、服装、各部署の目標などありとあらゆることがチェック・審査されました。



サーベイヤーの鋭い質問に回答中！



膨大な量の書類を審査します。



病棟でのサーベイヤー対応の様子です



薬品等がきちんと管理されているかチェック

審査の結果、日ごろより病院全体で業務を改善してきましたが、それでも問題点を指摘された箇所がありました。今回いただいたご指摘・ご意見を無駄にしないためにも、今後も業務改善などの取り組みを続けていくよう努めていきます。

なお、機能評価の審査結果はだいたい1～2カ月後くらいに通知されますので、またお知らせしたいと思います。

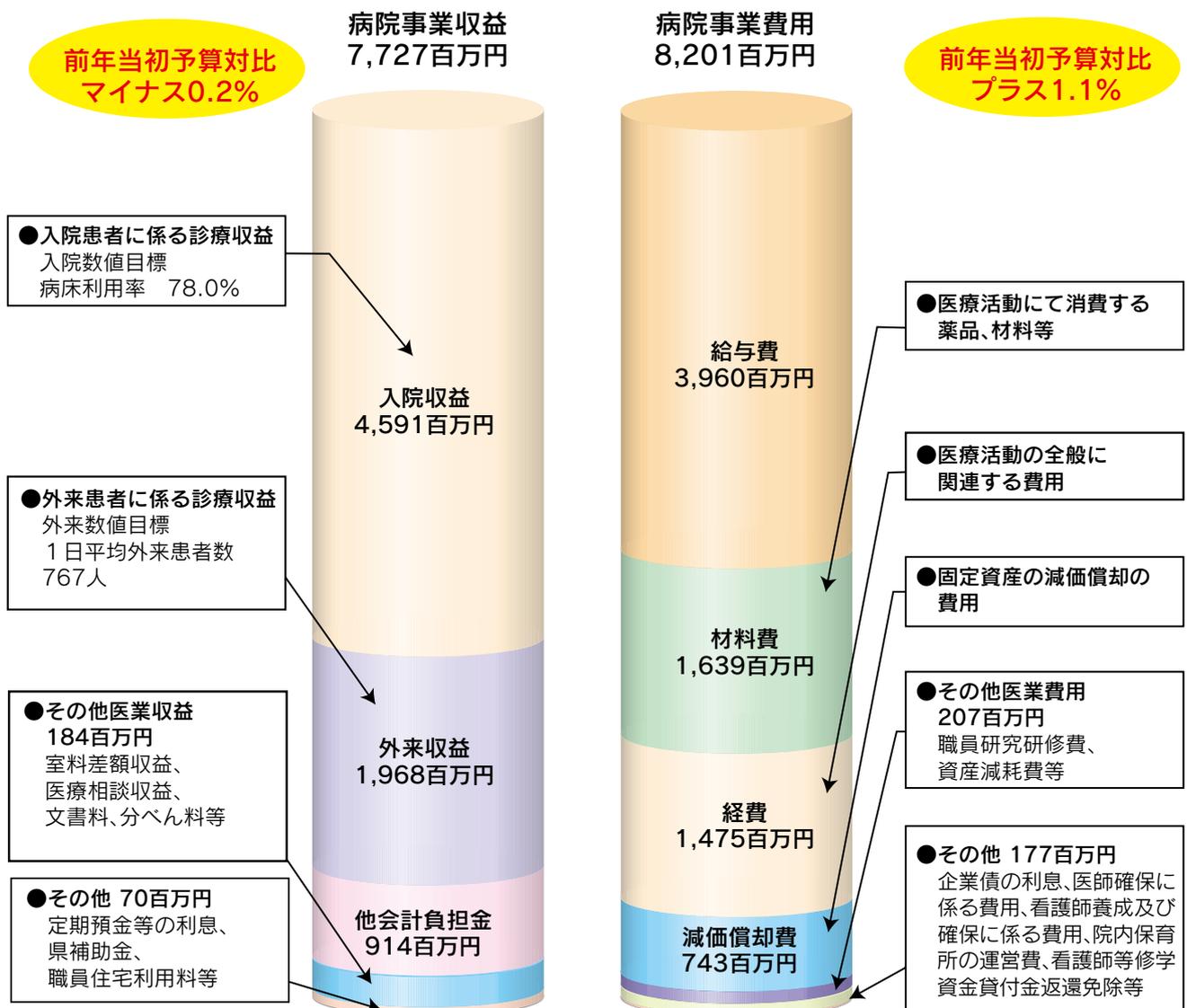
# 平成25年度予算の概要

## 予算編成方針

平成24年2月に改定された碧南市民病院改革プラン（改定第2版）に基づき、平成26年度の黒字化を目指し、経営の効率化と健全化を図るため、緊急度、重要度などを基に事業を精査しました。

## 経営の効率化・健全化を重点に

平成25年度も医師の確保や医療の質及びサービスの向上による収益の確保に努める一方で、経常経費については決算や現状を分析のうえ、経費の削減を図りました。今後も経営基盤の確立に向けて取組むとともに、より一層の経営の効率化・健全化を図ります。



# 空調熱源機器の改修と 非常用発電機設置が終わりました。

当院の北側で行われていた非常用発電機及び空調熱源機器改修工事が終了しました。改修と新たな発電機の設置理由は以下の3点です。

- 1 昭和63年開院時から使用していたため設備の老朽化がかなり進んでいた。
- 2 竣工当時と比較すると必要な電力容量が大幅に増大している。
- 3 大地震災害時での病院機能を維持するため。

これまでは病院の地下に自家発電機があり、1階に高圧受電設備（キュービクル）が設置されていましたが、東日本大震災相当の災害を想定した場合、水没して病院の大部分が停電してしまう恐れがあるため、重要な設備は屋外の浸水位以上の高さに設置しました。（病院の海拔は3.6mであり、発電機室は5.0mほどの高さに設置）

災害時に非常用発電機を稼働させた場合、平常時の電力使用量の80%を想定すると、燃料の残量にもよりますが、約3.6日から5.4日の間、病院機能を維持することが可能です。

震災を契機に防災訓練やトリアージ訓練などの活動内容を充実させるとともに、病院施設の面においても災害対策のさらなる強化を図ってまいります。



津波対策として高圧受電設備（キュービクル）も地上の高い位置に移設しました。

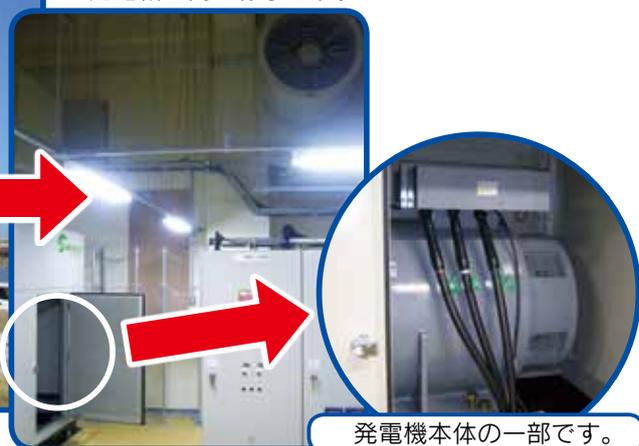


改修が終了した空調熱源機器です。



地上に設置された発電機室です。

発電機室内の様子です。



発電機本体の一部です。